

チーム

東中学校
女子バレーボール部通信
NO. 201号
1月20日(月)

「楽しさ」・「悔しさ」

「今日一日楽しかった人？」

「『悔しい』という気持ちがある人？」

一年生大会が終わった後、先生は一年生に向けていろいろな質問をみんなに投げかけました。その中で、全員の手が上がった質問は、上の2つでした。正直、先生はこの結果（挙手）を見て、安心しました。勝負ですので、必ず『勝ち・負け』がつきます。もちろん勝つことを目標に取り組んでいるので、今回勝てなかったこと（目標を達成することができなかったこと）は、本当に残念なことです。しかし、本当に大切なことは、これから3年生の引退までの1年半をどういった気持ちで過ごしていくのか、どういった取り組みをするかです。



先生は、スポーツをする上で（特に学校教育の中の部活動において）『楽しい』・『悔しい』という気持ちが、一番の原点だと思っています。この2つの気持ちがあるから、「もっとうまくなりたい！」とか「みんなで頑張りたい！」という気持ちがわいてくるのではないのでしょうか。今回感じたことを忘れなければ、必ず強くなれます。

最後になりましたが、2年生の皆さん、本当にありがとうございました。あなたたちの様々なサポートがどれだけ1年生に勇気をわき立たせ、エネルギーを与えたか、1年生が一番実感しているはずです。一年生大会を通し、一段と『チーム』になれたことを、顧問としてとてもうれしく感じます。



【保護者の皆さんへ】

先日の一年生大会では、寒い中にも関わらず、たくさんの方に瀬戸市体育館まで足を運んでいただき、また熱い声援を送り続けていただき、本当にありがとうございました。結果は残念ながら目標としていた愛日大会出場はかないませんでした。一年生9名は最後まであきらめずに全力を尽くしたと思います。また大会中はもちろん、大会を迎えるまでの二年生のサポートは本当に素晴らしいものがありました。当日は三年生も応援に来てくれたり、一年生の担任や教科の先生方も応援に駆けつけてくださったりするなど、東中学校は部員・保護者・教員がまさに一つとなって戦うことができました。顧問として、本当にうれしく感じました。



一年生はこの悔しさをきっと忘れることなく、今まで以上に練習に励むだろうし、チーム全体としても、より一層質の高い練習を心がけ、2週間後の冬の愛日大会に向かっていきたいと思います。今後ともお時間がありましたら、是非体育館に足を運んでいただき、熱い応援をよろしくお願いします。